

第Ⅱ部 調査結果の概要

第6章 この1年間の出来事

1 はじめに

今回の調査では、第1回調査実施後の1年間に回答者の周辺で起きた出来事をたずねてみた。その際、回答者本人が経験したことと回答者の家族が経験したことの2つにわけて回答してもらった。

また、第2回調査では回答者が過去1年間に何かを学んだかどうか、「学習」の経験の有無をたずねた。この設問は収入を伴う仕事に就いている回答者が職業生活をおくる上で有益な自己啓発や能力開発を行ったかどうかに限らず、教養を高めるためや健康維持、生活や趣味の充実を目的したものを含めて扱うこととした。

2 過去1年間の出来事

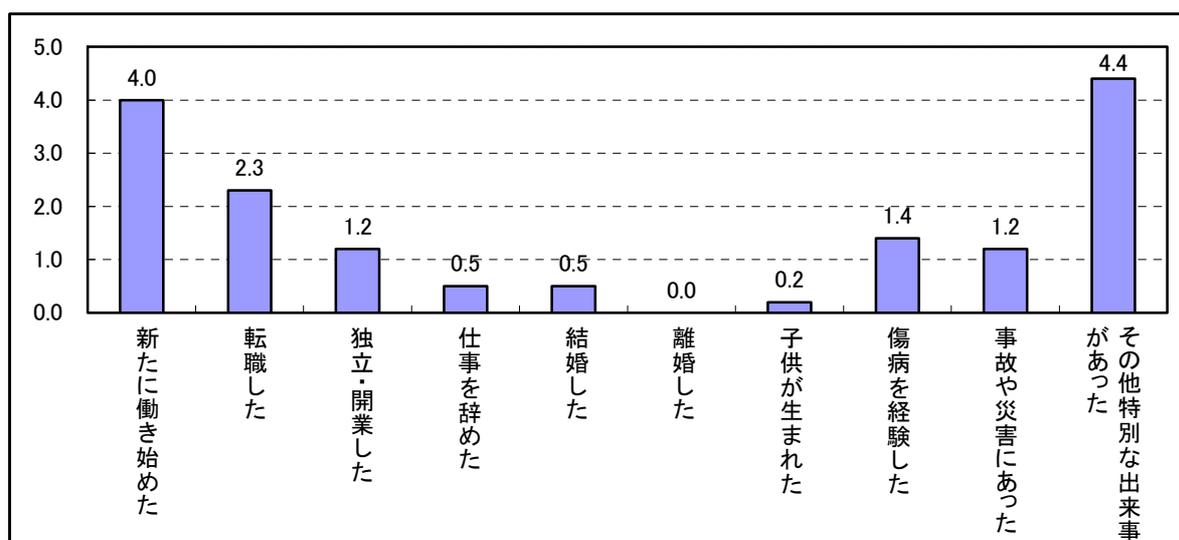
2.1 回答者、家族が過去1年間に経験した出来事

第2回調査では、第1回調査実施後の1年間に回答者及びその家族が経験した出来事をたずねた（第6-1図）。

まず、回答者が経験した出来事については、「特別なことはなかった」という回答が84.8%となっており、多くの回答者は職業生活、社会生活、家族生活上特別な出来事を経験していない。

これに対して、何らかの出来事を経験した場合、その出来事で多かったのは、「新たに働き始めた」という回答が4.0%、「その他」が4.4%となっている。

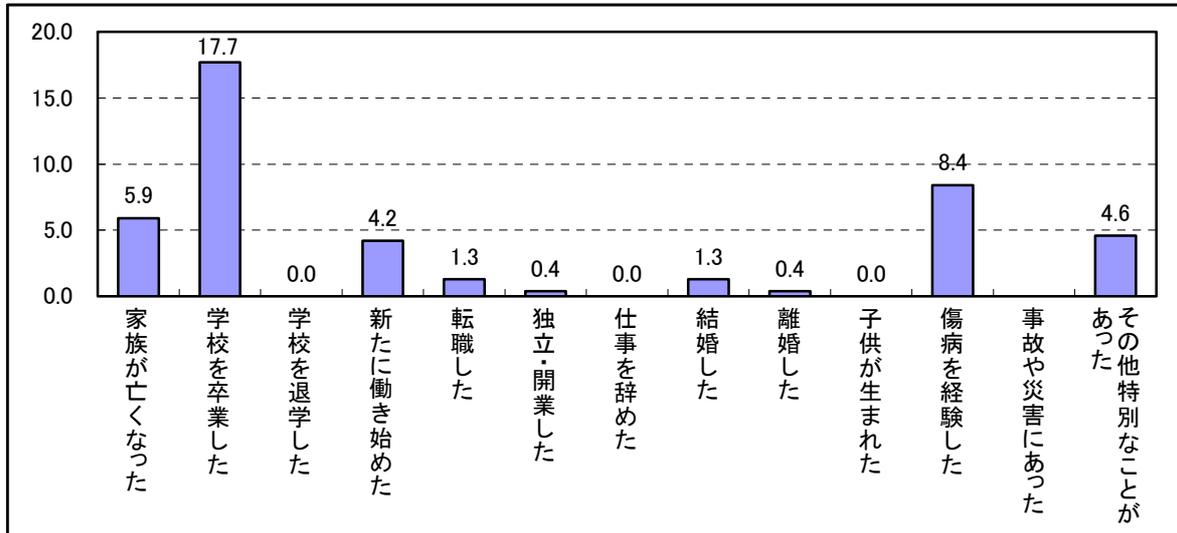
第6-1図 過去1年間に経験した出来事（複数回答、N=428）



一方、この1年間に回答者の家族に特別なことは何もなかったというケースが58.6%であ

る。家族に起こった出来事としては、「学校を卒業した」が17.7%、「家族の誰かが亡くなった」が5.9%、「病気やケガをした」4.6%、「新たに働き始めた」4.2%等が多い（第6-2図）。

第6-2図 過去1年間の家族の出来事（複数回答、N=237）



2. 2 過去1年間に学校等で学んだ経験の有無

第2回調査では、過去1年間に各種学校、専門学校、大学、大学院に通ったり、通信教育などを通じて何かを学んだりして何らかの「自己啓発」「能力開発」を行ったかどうか、経験の有無をたずねた。この質問は第1回調査にはなかった質問である。もともとは回答者の職業生活の充実に貢献する「自己啓発」「能力開発」に限定して質問する予定であったが、やや広範囲に教養を高めるためや健康維持、生活や趣味の充実といったものを含めてたずねることにした。

その結果、過去1年間に各種学校、専門学校、大学、大学院、通信教育などを通じて何かを学んだ経験があると回答した者は51人であった。

では、この1年間に何かを学んだという回答者を対象に、どのような環境で学習したのか、学習に利用した学校・通信教育などの方法・手段を複数回答でたずねてみた。その結果が第6-3図である。最も多かったのは、「通信教育」の43.1%で、以下、「各種学校」の25.5%、「その他」の19.6%等が多かった。

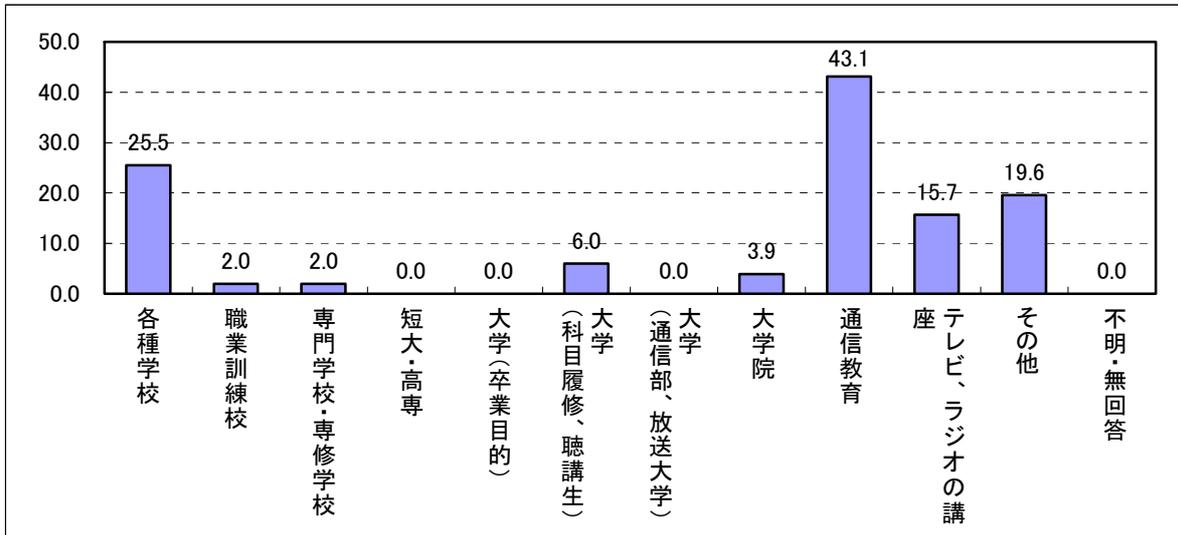
そもそも、回答者はどのような理由から学習したのかを回答してもらった（第6-4図）。その結果、「仕事に必要な資格等を得るため」が52.9%で最も多く、以下、「教養を身につけるため」の37.3%、「趣味を高めるため」の27.5%等が続いている。

学習の具体的な内容については、語学がおよそ6割、資格関連が3割などとなっているほか、趣味や教養等の関連で過去1年に学習した経験を持っている（第6-5図）。

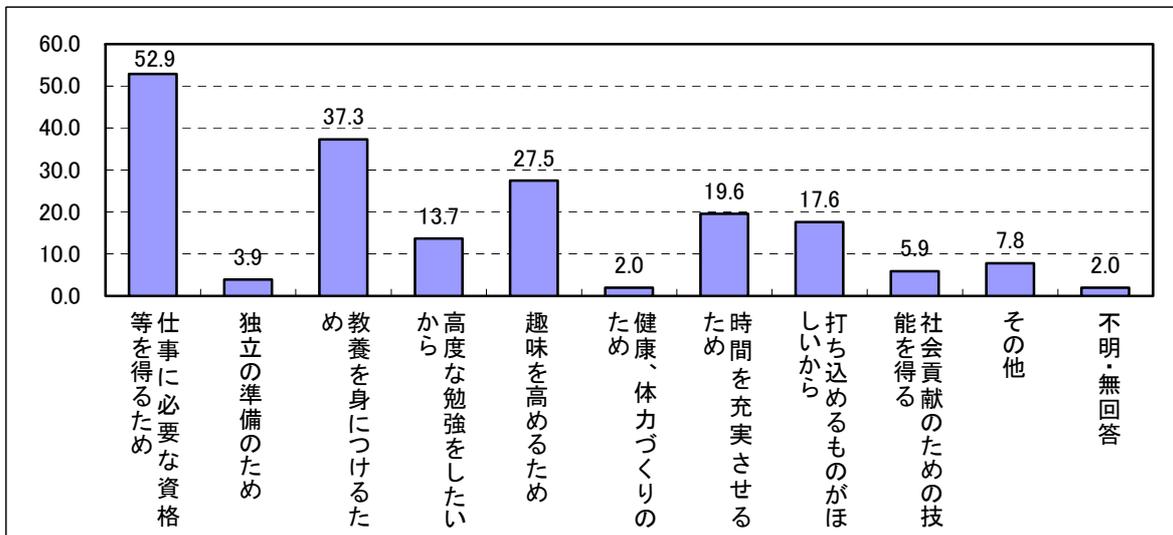
さらに、回答者全員を対象に、今後、分野や方法を問わず、何かを学びたいと思うかたず

ねた。その結果、61.7%の回答者が「学びたい」と回答している。しかし、「わからない」と回答している者も25.0%いる。

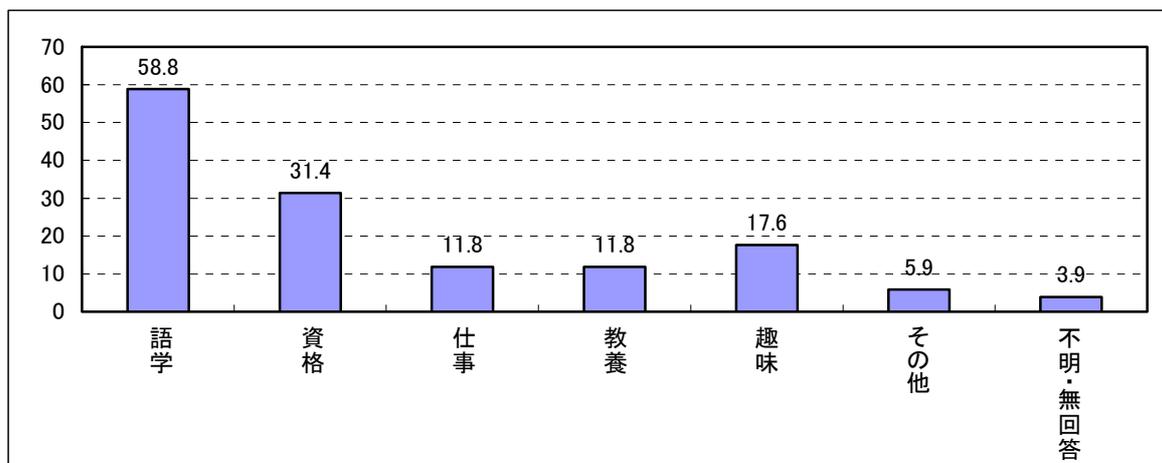
第6-3図 過去1年間にどのような方法で学んだか (N=51、複数回答)



第6-4図 過去1年間にどのような理由から学んだか (N=51、複数回答)



第6-5図 過去1年間にどのようなこと学んだか (N=51、複数回答)



3 過去1年間の出来事のまとめ

過去1年間の出来事については以下のように整理できる。

- (1) 回答者本人及びその配偶者が経験した出来事については、「特別なことはなかった」という回答が8割以上で、多くの回答者は職業生活、家庭生活、社会生活上特別な出来事を経験していない。
- (2) 回答者家族については、「特別なことは何もなかった」というケースが6割近くあった。一方、家族には、「学校を卒業した」、「家族の誰かが亡くなった」、「病気やケガをした」、「新たに働き始めた」等の出来事があった。
- (3) 過去1年間に何かを学んだ経験があると回答した者は、51人であった。学習した内容は、語学が6割で、資格関連が3割となっている。その他、趣味や教養に関連したことが挙げられている。

学習に利用した方法、手段としては、4割以上が「通信教育」を挙げているほか、「各種学校」等が多かった。

回答者が「学習」した理由としては、「仕事に必要な資格等を得るため」が半数近くで最も多く、以下、「教養を身につけるため」、「趣味を高めるため」等が続いている。